



資料館だより

No.43
2013年
1月号

過去と未来がひびきあう

—ようこそ、エコミューズへ。

www.aozora.or.jp/ecomuse/

あおぞら
財団付属

西淀川・公害と環境資料館

エコミューズ

あおぞらイコバ・佃でみせ

12月17日に開催

おにぎりとお汁を食べながら、昔話で盛り上がる



写真を見ると記憶がよみがえってきます

12月17日、西淀川区の佃地域で、地域のことを語り合う会を開催しました。地元の人や大学生など29人が参加し、世代を越えて、昔の話で盛り上がりました。

この会の名前ですが「あおぞらイコバ 佃でみせ」としました。



粕汁とおにぎり。いただきまーす

あおぞらイコバは、あおぞら財団が入居するビル1階の地域交流スペースです。野菜市や展示、音楽教室、ジャズコンサート、会議など、人と人との交流の場に利用されています。

このスペースが外へ出て行くという意味で、「でみせ」としたわけです。

そして、この日は、昔からよく食べていたという粕汁とおにぎりを地元の人と大学生が準備し、おいしい食事をしながら、昔の写真や地図を見ながら、参加者がわきあいあいと地域のことをしゃべりました。

あっちこっちで、話が盛り上がり、蛇の話から馬の話、昭和30年代でもかまどを使っていた



仲良しグループで、あっはっはー

旧家の話。戦争中の建物疎開から、狛犬まで、いろんな話が飛び出しました。

開催にあたっては、「佃史探求 風とみどりの会」の方々に準備段階から協力をいただきました。また、エコミューズの小田康徳館長をはじめ、都留文科大学の高田研先生、京都精華大学の板倉豊先生にご参加、ご協力いただきました。

地域の良さや、面白い所を、いろんな人と共有し、共有した情報を公開していきたいと思えます。

★佃の歴史を調べている「佃史探求 風とみどりの会」の八木一夫さんに2012年9月19日に聞き取りした内容をあおぞら財団機関誌『りべら』No.127(2013年1月号)に掲載しています。どうぞあわせてご覧ください。

こんな話題が出ました【ダイジェスト】

「佃でみせ」の仕掛け人・高田研氏のブログより

◎じえん台風(1950. 室戸上陸、神戸から京都に通過。正確にはJaneジェーン。大阪の人はそう呼ぶ)の時、クビまで浸かったという話。自分の家の壁にその時の水線がくっきりと残っているという女性。「アメリカのえらい悪い女やったんやろうなあ。」とは大阪のおっさんらしいオチ。

◎田蓑神社(869創建)の本殿にある狛犬は製作年が銘記された内で大阪府最古(1702)の作。それをを模して拝殿脇に配置された昭和2年作の狛犬があります。「それは私の祖父が作りました。」と言われる方のお話。

◎その田蓑神社の宮司の親戚だったと言われる方は、昔はニシキヘビ??ほどもある大きな白いヘビが時々境内に現れて、ズリズリと音を立てて這っていたと言う話。

このように地域の人々が集まって談義??するコミュニティカフェがスタートしました。決してまちづくりは一朝一夕では出来ません。あおぞら財団が新たに始めた取り組みの第1歩です。みなさんと楽しみでお帰り戴きました。

<http://www.tsuru.ac.jp/subject/kankomi/2012/12/post-136.html>

※この活動は(独法)環境再生保全機構地球環境基金の助成金を受けて実施しています。

所蔵資料紹介

第9回全国公害被害者総行動デー 江戸屋猫八さん講演

「公害被害者総行動デー」は1976年から毎年、積み上げられてきた文字通りの「総行動」の取り組みです。現あおぞら財団理事の森脇君雄さんは「直接大臣や局長と交渉できる日本で唯一の取り組み」と強調されています。

1984年6月5～6日に行われたその第9回総行動デーの報告集に出会いました。この報告集では「5日の日比谷公会堂における決起集会には300団体以上、2000人とこれまでにない多数の被害者と市民、労働者、専門家が参加し大きな成功を収めました。」と記述されています。中曽根内閣による臨調路線と軍備拡張政策の中で、公害環

境行政の後退の危機が一段と強まる中での取り組みでしたから、大きく成功したものになったようです。

この「第9回総行動デー」の決起集会において声帯模写と漫談で有名な「江戸屋猫八」さんが「うそと誠一猫八の兵隊ぐらし」と題して記念講演を行っていることに注目しました。

「…しかしこの、人間の世界だけだそうでございますね、嘘をつくのは。他の動物は嘘はつかない。かわうそだって嘘はつかないんですからね。…」で始まり、自身の軍隊経験で戦友の死亡の様子を「貴様は芸人だから、遺骨を取りに来た奥さんにうまく話せ。」と上官に指示され、本当のことは言えないで嘘で奥さんに話した。後で奥さんからの手紙で、隊長から事細かく聞いていたが、話してくれた嘘の話は本当に



嬉しうございました。」と言いながら「戦争はあってはならない。平和であらねばならないのです。」と結ばれていました。

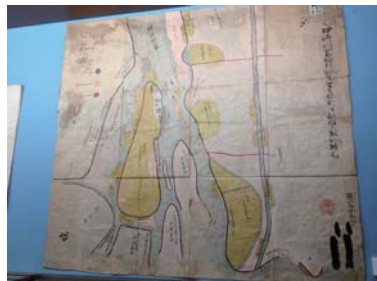
さらに、森脇さんも裁判官として登場する法廷劇「1984年・公害法廷」や主婦連事務局長の清水鳩子さんの「食品の安全行政を求めて」とする特別報告もされていました。

多くの市民の「共感の獲得」を目指す主催者の努力が伝わる報告集でした。(天野憲一郎)

やかた館 訪問記

見市家所蔵資料館 西淀川区佃

新田の様子がわかる絵地図



阪神「千船」駅を下車して、北側に交番があります。その裏手に、蔵を改造した見市家所蔵資料館があります。大阪・摂津などの地図類や、佃周辺の新田の様子が分かる絵図が沢山あります。現在の佃1丁目～2丁目あたりが、江戸時代にも集落であったことが分かります。佃の開発が最初に行われたのが「藪床」という場所なのですが、藪床の文字がくっきり描かれています。ちなみに、藪床の記念碑はローレルハイツ新佃公園横の公園にあるので、探してみてくださいね。資料館は個人宅ですので、一般公開していませんが、「大阪あそ歩」のコースに入っていると、機会があればぜひ見たい佃のお宝です。(訪問日2012年11月29日 林)

お知らせ

エコミューズ活動資金
【ハモン基金】
寄付協力をお願い

エコミューズを支えてください。あなたの寄付金は青空へつながります。

●寄付の方法

郵便局からお振込いただけます。また、直接エコミューズにお越しいただいても結構です。

【口座番号】
千円
1096019
124893

【加入者名】あおぞら財団
※通信欄に「ハモン基金」の寄付とご記入ください。一口の金額はお選びください。

ボランティア隊

「エコミューズ★募集

あなたも「エコミューズ★」に入っちゃおう！資料整理や展示、イベントの手伝いなど、活躍の場がいっぱいです。交通費●実費支給(上限2000円) どうぞお気軽にお問い合わせください。



エコミューズの活動は Hamon基金によって支えられています。



編集後記

江戸屋猫八さんが総行動の記念講演に出演されておられたとは、面白いですね。記録集には(笑い)、(大笑い)の挿入がいっぱいです。これらの記録はすべて電子化されてこちらのサイトでご覧いただけます。(Y) 「記録で見る大気汚染と裁判」 <http://nihon-taikiosen.erca.go.jp/taiki/abstract/soukoudo.html>

資料館だより No.43
2013年1月号(季刊1日、年4回発行)

発行所 あおぞら財団付属
西淀川・公害と環境資料館
(エコミューズ)

連絡先 大阪市西淀川区千舟1-1-1
あおぞらビル5F(〒555-0013)

TEL:06-6475-8885 FAX:06-6478-5885

Email: webmaster@aozora.or.jp

<http://www.aozora.or.jp/ecomuse/>



エコミューズは
青空を未来へ手渡す記録のひろば

西淀川の公害・環境、地域に関する記録資料や環境学習の教材・ビデオなどが豊富です。ぜひご利用ください

開館 ●月曜日、金曜日(祝日は休み)

10:00AM～5:00PM [要予約]

利用 ●図書の新着品は2週間

書庫資料や裁判記録は閲覧のみ